

			科目コード	102
科目名	愛媛の文化 (Culture of Ehime)		開講学科	看護学科・臨床検査学科
選択区分	必修	単位数 (時間)	1 単位 (15時間)	履修時期
				1 年次後期
担当教員	岡本 淳*、竹井 賢二*、田坂 泰之*		科目区分	共通教育科目
授業概要	地域学 (愛媛学) や歴史学の立場から、中世から現代にいたる県内各地の人々の生活や文化、産業等の様子やその変化などを学び、それらに通底するものを探ることをとおして、「ふるさとらしさ」や「愛媛らしさ」を再認識し、地域社会と自己との関わり方について考察する。			
授業目標	愛媛の身近な地域のくらしや文化などを学び、それらの中で育まれた知恵や感性などに触れることをとおして、地域社会とそこに生活する人々への理解を深めるとともに、その一員として生きる自己の在り方や生き方について考察し、豊かな人間性を培い倫理観を高める。			

授業内容

回	項目	内 容	担当者
1	「ふるさとらしさ」の再発見	自ら暮らす地域を見つめ直し、地域らしさ (よさ) を再発見する中で、地域理解だけでなく人間理解も深まることを、具体的な事例をとおして学ぶ	竹井賢二
2	愛媛の漁村と港町における人々のくらし	南予地方の宇和海沿岸地域に住む人々の生活や文化、産業などについて、昭和の時代を生き抜いた人々の「語り」をとおして学ぶ	
3	愛媛の山間地域における人々のくらしと文化	山間地域に住む人々のくらしや文化について、その地域の江戸時代以降の主産業との関わりに触れながら、その概要について学ぶ	岡本淳
4	愛媛の道と人々のくらし	道の変遷や人々のくらしの変化について、山間地域 (特に中予地方の久万高原町) を事例に、その概要について学ぶ	
5	一遍と時宗	時宗の開祖一遍は伊予とどのような関わりをもち、どのような宗教活動を行ったのかについて、鎌倉時代の新旧仏教の概要に触れながら学ぶ	田坂泰之
6	愛媛の子どもの生活誌	今日までの、子どもたちのくらしぶりや子どもを取り巻く地域社会の絆や文化について、県内各地の具体的な事例をとおして学ぶ	
7	愛媛の生活文化	県内各地の衣食住にまつわる文化をはじめ、伝統的行事や慣習などを学び、それらの生活文化に通底するものについて考察する	岡本淳
8	まとめ・試験	前回までの講義内容をまとめた後、筆記試験を実施する	
成績評価方法		最終回に実施する筆記試験 (65%) と授業への取り組みの積極性 (35%) によって評価する。 (筆記試験は、資料や参考書等すべて持ち込み可)	
教科書		資料は毎回配布するが、テキストは使用しない。	
参考図書等		参考図書は随時紹介する。	
備 考		筆記試験の内容は、第1回から第7回までの全ての授業に関わるものとし、授業への取り組みの積極性は、授業毎に配布し回収する意見・感想メモの内容によって判断する。	